

旧新潟県健康福祉ビジョン基本目標分析表

基本目標	県民の健康づくりを支える保健・医療の充実を図り、「平均寿命・健康寿命の延伸」を目指します。
成果指標・目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎「平均寿命」：男性 全国 27位 (H22) から 10位以内(H27) 女性 全国 5位 (H22) から 3位以内(H27) ◎「健康寿命」：健康寿命の伸びが平均寿命の伸びを上回る ◎「県民の健康度」(関連指標)：増加させる

1 進捗状況

◎「平均寿命」：平均寿命は男女共に延伸しているものの、H27年の値において全国順位は男性24位、女性11位となった。

		H17		H22		H27		H29(参考)
		順位	平均寿命	順位	平均寿命	順位	平均寿命	平均寿命
男性	新潟県	23位	78.75歳	27位	79.47歳	24位	80.69歳	80.97歳
	全国		78.79歳		79.59歳		80.77歳	81.09歳
	差		-0.04歳		-0.12歳		-0.08歳	-0.12歳
女性	新潟県	9位	86.27歳	5位	86.96歳	11位	87.32歳	87.48歳
	全国		85.75歳		86.35歳		87.01歳	87.26歳
	差		0.52歳		0.61歳		0.31歳	0.22歳

※「都道府県別生命表」(H17、H22、H27)、「新潟県簡易生命表」(H29新潟県)、「簡易生命表」(H29全国)による。

◎「健康寿命」：H28年の健康寿命は、H25年と比べて男女ともに延伸し、全国平均を上回っている。また、健康寿命の伸びが平均寿命の伸びを上回ったことにより、平均寿命と健康寿命の差は男女ともに縮小した。

	平均寿命		健康寿命(推定値)		平均寿命と健康寿命の差	
	H25	H28	H25	H28	H25	H28
男性	80.30年	80.89年	71.47年 全国17位	72.45年 全国10位	8.83年	8.44年
女性	86.77年	87.38年	74.79年 全国13位	75.44年 全国11位	11.98年	11.94年

※平均寿命の値は新潟県簡易生命表による。

健康寿命の値は健康日本21(第二次)推進専門委員会資料(厚生労働省)による。

◎「県民の健康度」：県民意識調査

	H22	H25	H27	H28
健康で充実した生活を送っていると感じる県民の割合	64.0%	65.0%	63.4%	64.2% (+0.8%)

進捗状況と分析

2 分析

健康づくりや安全・安心な医療の基盤づくり等の取組により、本県の平均寿命は、男女ともに延伸している。女性においては目標としていた全国順位 5 位以内を H22 年の値で達成し、目標値を 3 位以内に再設定したが、H27 年の値で 11 位となり順位を下げた。男性においては、H22 年の 27 位から H27 年は 24 位となり順位を上げたものの、目標の 10 位以内には届かなかった。

H28 年における本県の健康寿命は、H25 年と比較して全国平均以上に延伸し、平均寿命と健康寿命の差は男女ともに縮小したが、依然として約 10 年の差があることから、この差をさらに縮小させていくことが重要である。

健康づくり

☆ 死亡率の高い「悪性新生物」「心疾患」「脳血管疾患」などの対策として、生活習慣病予防、がん対策の推進に取り組むとともに、介護予防や自殺対策、歯科保健対策を進めた。

1 生活習慣病予防の推進

運動習慣の普及定着に向けたウォーキングを中心とする取組の推進、働く世代の食生活改善、受動喫煙対策の推進など

2 がん予防・医療対策の推進

がん検診の普及啓発、休日広域検診イベントの実施、がん登録事業の実施など

3 介護予防と認知症対策の推進

介護予防ケアマネジメントに関する研修の実施、運動習慣の普及定着に向けたウォーキングを中心とする取組の推進など

4 自殺対策の推進

自殺予防対策推進県民会議の開催による自殺対策の推進、「こころの相談ダイヤル」365日24時間体制で運営など

5 歯科保健対策の推進

フッ化物利用を中心としたむし歯予防対策の推進、市町村・企業等における成人歯科健診等の取組促進、「にいがた健口文化推進月間」を通じた普及啓発など

成果指標
に寄与し
た施策の
取組

安全・安心な医療・食品の基盤づくり

☆ 救急医療体制の整備や医療連携、医療安全の推進や医師等確保対策の推進、食の安全・安心の推進に取り組んだ。

6 救急医療体制の充実強化

小児救急医療電話相談の実施、ドクターヘリ2機体制の運航、精神科救急医療体制の完全2ブロック体制の実施など

7 医療機能の連携・分担と医療安全の推進

医療安全研究会・医療機関指導の実施、へき地医療拠点病院への支援、県民医療安全相談窓口に関する広報の実施など

8 食の安全・安心の推進

様々な媒体を利用した食の安全（食中毒の発生予防等）に関する積極的な情報提供、食品事業者に対する監視指導、流通食品等の検査など

9 県民の健康を支えるひとづくりの促進

関係機関と連携した臨床研修医・専攻医の確保、地域医療を担う志を持った医学生・医師のキャリア形成支援、セミナーや相談会の実施による看護職員の再就職・県内就業の促進など

健康づくり

- 1 1日あたり平均歩数が増加しない要因の分析・効果的な対策の検討、喫煙により悪影響を受ける機会が多い若年女性に対する喫煙防止・禁煙支援の取組の推進など
- 2 働く世代ががん検診を受診する上での利便性の向上や対象者個人に対する効果的な受診勧奨の推進、検診の精度管理を通じた検診の質の維持・向上
- 3 県民への介護予防に関する普及啓発、総合事業における体制充実、介護予防に資する多様な地域活動組織の育成支援など
- 4 県民一人一人の自殺予防意識の醸成、地域参加型の地域での「気づき・見守り体制」の構築等、新潟県自殺対策計画に基づく自殺予防対策など
- 5 市町村、企業等における成人歯科健診等の取組促進、県民の歯・口腔の健康づくりの意識・行動の定着、要介護者等の歯科治療及び口腔ケア促進に向けた連携体制の構築など

今後の課題

安全・安心な医療・食品の基盤づくり

- 6 地域の実情に応じた診療日時の拡大に向けた取組促進、ドクターヘリの効果的・効率的な運航体制の検討、多様な精神科救急事例に適切に対応できる体制の構築など
- 7 無医地区等の解消に向けたへき地勤務医の確保、地域医療提供体制の強化、医療安全相談員の資質向上、関係機関との連携強化など
- 8 HACCPの一層の普及推進、食の安全に関するタイムリーな情報発信、食の安全への関心が特に高い子育て世代へ向けた親子で参加できるイベントの開催
- 9 修学資金貸与医師等のキャリア形成支援の充実、地域医療支援センター機能の充実、関係機関と連携した取組による臨床研修医・専攻医等の安定的な確保、看護職員養成体制の強化や県内外の看護学生等に対する県内就業の働きかけ、離職防止に向けた取組や離職後に再就業しやすい環境づくりなど